

2020年1月27日
NHK広報局

前田晃伸会長就任会見要旨

このたびNHK会長に就任いたしました前田晃伸です。大変な重責を担うことになると受け止めています。改めてよろしく願いいたします。

公共放送であるNHKには、正確で公平・公正な情報発信、豊かで良質な番組を幅広く提供し、我が国の民主主義の健全な発展と文化の向上に寄与するという大切な使命がございます。私はこの使命を果たすために、しっかりと軸のぶれない組織運営をしていきたいと思っております。

放送法に則り、報道機関として不偏不党の立場を守り、番組編集の自由を確保した上で、何人からも干渉されず、放送の自主・自律を堅持することは当然であります。

放送と通信が融合する時代となりましたが、NHKが「公共放送」から「公共メディア」に進化いたしましても、この立場をしっかりと保ってまいります。

NHKは、視聴者・国民の皆さまからいただく受信料によって成り立つ組織であります。このことを肝に銘じ、コスト意識を十分にもって、視聴者・国民の皆さまから信頼される、質の高い番組やコンテンツを作り続けることを、全ての役職員に徹底してまいります。

4月1日からは、常時同時配信と見逃し番組配信の新たなサービス「NHKプラス」が本格的に始まります。放送を太い幹としつつ、インターネットも効果的に使って情報を提供してまいります。時代の大きな変化に合わせながら、視聴者・国民が求める、信頼できて役に立つ情報を届けていく、「情報の社会的基盤」の役割を果たしていくことが、公共メディアNHKに求められている普遍的な役割だと考えます。3月1日からの試行的な実施で課題などを洗い出し、4月からの本格実施に備えます。

そして今年、56年ぶりの自国開催となる、東京オリンピック・パラリンピックの年です。国の内外から、日本が注目を集める絶好の機会となります。これを活かして、大会では、4K・8Kでの競技中継や中継映像のインターネット配信、新技術を活用したデジタルサービスなどNHKの制作力・技術力を駆使して、現3か年経営計画でお約束をしております「最高水準の放送・サービス」を実施したいと考

えています。日本の姿や魅力を世界に伝えていくため、国際発信にも力を入れていきます。

BS4K・BS8Kにつきましては、東京オリンピック・パラリンピックなどを控え、超高精細な映像の魅力的なコンテンツをお届けすることで、さらに普及が進むことを期待しています。引き続き、国のロードマップを踏まえ、オールジャパンで取り組む中で、公共放送として先導的な役割を果たしていきたいと思います。

さらに、このところ毎年のように発生する大規模な自然災害への対応は、公共放送・公共メディアの一丁目一番地であります。「命と暮らしを守る」防災・減災報道に引き続き全力で対応し、首都直下地震や南海トラフ巨大地震などへの備えにも万全を尽くします。

そして、放送・サービスの充実にあたって、引き続き「働き方改革」にしっかりと取り組みます。組織にとっては、やりがいをもって働く多様な人材こそが最も重要な経営資源であります。「NHKグループ働き方改革宣言」を踏まえ、NHKグループで働くすべての人が、健康で、誇りを持って、生き生きと働くことができる環境づくりを進めてまいります。

冒頭に述べた通り、NHKが視聴者・国民からお預かりした受信料をどう効率的・効果的に使い、質の高い番組を制作することなどによりまして公共放送・公共メディアとしての役割を果たしていくかは、経営にあたって最も重要なことだと考えております。その意味で、業務・受信料・ガバナンスを一体とした改革、いわゆる「三位一体改革」は当然、不断に取り組まなければならない課題であります。

今年は、2021年度から始まる、次の中期経営計画を固める年です。公共メディアとしての魅力のある放送・サービスとともに、将来に向けて公共メディアの土台を固めていくため、本格的な検討を急ぎたいと思います。

2020年は「公共メディア」としてのNHKの真価が問われる重要な1年になると思います。視聴者の皆さまの様々なご意見に謙虚に耳を傾け、スピード感を持って対応し、期待と信頼にしっかりと応えてまいります。私が先頭に立ち、NHKグループの改革を進めていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。